

第6回 豊丘村リニア対策委員会が開催されました。

開催日時：平成29年2月 7日（火） 午後7時～ 開催場所：保健センター2F
 ○委員出席者数 31名 ○傍聴者数 10名

1. 開会 昼神総務課長
2. 村長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 事業関係者あいさつ

○長野県リニア整備推進事務所 栗林調整課長より ○JR東海中央新幹線推進本部 澤田部長より
 ○中部電力用地部リニア関連送変電グループ 百瀬課長より

5. 協議・報告事項

(1) JR東海よりリニア中央新幹線事業の進捗状況等の説明

- ①工事用道路について
 - ア.運行計画について
 - イ.村道改良について
 - a.村道長沢線・村道中央線
 - b.広域農道・県道長沢田村線（交差部）
 - c.県道長沢田村線
 - d.村道中央横断線
 - e.林道大島虻川線
 - ウ.通行規制について
- ②発生土置き場候補地（本山）について
- ③現場事務所・作業員宿舎について
- ④今後の予定

(2) 質疑応答

対策委員会での質問・意見・要望	事業者等の回答
<p>①伊那山地トンネル（坂島工区）の工事に伴う工事用道路関係について</p> <p>ア. 道路に歩車分離の色を塗ったり、ポールを立てるとの事であるが、最近歩行者の列へ車が飛び込んだりする痛ましい事故が起きており、更には低学年の道路への飛び出しも心配される。ガードレールや鋼鉄ロープを設置するなどの、対応も検討してもらいたい。</p> <p>イ. 五差路の改修については、ここは前から危険と言う事で、村でも道路へペイントをする等の注意喚起を色々してもらっている。この場所は通学路でもあるので、歩行者に対する安全の面での改良も、是非お願いしたい。</p> <p>ウ. 田村区では村道長沢線と中央線の、安全施設の対策と言う事での説明会があった。当初は特に該当する4つの自治会と、PTAの方々への説明を行った。その中で一番影響があると思われる北村地区で、再度説明してほしいとのことで、JRで説明会を行っていただいた。その説明の中でも100台/日という数字に対して、とても不安を感じて</p>	<p>⇒基本的には片側一車線の水路上に蓋をして、そこを歩道にさせていただく計画です。現状よりは広い幅員を確保できます。通学時間帯については、基本的には工事用車両を通行させないように調整していきたいと考えております。</p> <p>⇒五差路は改良を行うことで見通しが良くなりスピードが出るようになれば、心配との意見もあります。工事用車両については基本的に、通学時間帯には通行させないことや、運転ルールをしっかりと守るよう教育することで、この道路を通行させていただきたいと考えています。</p> <p>⇒安全対策について、説明会で色々なご意見やご指摘をいただいています。いただいたご意見等については、今後検討させていただき、工事説明会等で説明させていただきたいと考えています。引き続き情報交換をする中で、確実に安全な通行が出来るように、対応させていただきます。</p>

いた。先日説明会での回答と言う事で、再び説明会を開いていただいた。その中で「100台／日は超えない様にする。」
「他の工区や中部電力の工事がはじまる時には、又再度協議する。」「五差路の改良をJRで行う。」「安全性への対応については、これからも現場にて確認する。」等の回答をいただき、北村自治会でも今後協議を行い、JRへ回答をしていく状態である。

エ. 1月末から本日にかけて、3度目の説明と言う事である。佐原地区では発生土置き場については、特段意見は出なかったが、工事用車両が多く通ると、特に老人等が道路を渡る際の配慮をしていただく等、最終的には現場を確認して対応していただきたい。県道長沢田村線についても、車両がすれ違うには問題ないとなっているが、いったいどんな車両の事を言っているのか。狭い場所も多くあるので現地で実際に車両を走らせて、安全面については確認していただきたい。

オ. 運行計画について、「通勤通学等の時間帯は、通行台数を調整するように努めます。」とあるが、どのような調整を行うのか。

カ. 林道大島虻川線を改良するとの事であるが、奥には野田平キャンプ場がある。以前には支障の無い様にするとの説明だったが、これだけ工事が行われると支障が出て来るのではないかと思うが、その事についてどう考えているか。

キ. 先ほども林区長より意見があったが、県道長沢田村線については、冬場特に危険な道路として改良を県に要望している。先程よりすれ違い可能道路との説明があったが、何をもってしてそういう判断をしたのか理解できない。特に急カーブがあるところについては改良の必要が有ると思われる。県道長沢田村線については、再度現場を確認していただき、適正な改良をお願いしたい。

ク. 運行計画の中で、「時間帯は現地での作業開始・終了の時間です。」とあるが、現地とは長沢田村線から、本山発生土置き場までの全体の中での事なのか、それとも坂島非常口や本山発生土置き場の事を現地と言っているのか。

ケ. 道路改良の説明をしていただいたが、この改良についてはあくまで、坂島工区の工事のみを考えての計画であるのか。それともこれから工事がはじまる戸中非常口についても、配慮したものなのか。

⇒工事用車両が通行することで、ご心配かと思いますが、基本的には時間帯を振り分けて、その時間帯については通行させない様にしたいと考えています。もし通行しなければならない場合には、事前にご相談させていただきます。これから学校ともお話をさせていただく中で、学校・村・JRでの連絡体制もしっかりとしていきたいと考えています。

⇒道路改良工事期間中は、通行止めも行わなければならないと、支障が出てくるかと思われませんが、それが2年3年と続くわけではありません。出来る限り早く道路改良工事を終わらせるようにしていきたいと考えています。

⇒JRとしては現時点では今の考え方でありますが、現地で確認する中で必要と判断すれば対応していきたいと考えています。

⇒村道長沢線から本山発生土置き場まで全体の区間を、運行時間帯内で往来するという事です。(JV)

⇒戸中非常口については、道路として林道大島虻川線と村道中央横断線を使うルートしかないとは考えられますが、請負業者が決まりしだい協議させていただきたいと考えています。全てを同じルートで走行すると決定したものではありません。

②本山発生土置き場候補地関係について

ア. 先に議会リニア特別委員会より、別紙にてJR東海に出された質問内容の8項目について、JR東海より説明を行う。

1) 調整池(1400m³)の浚渫(しゅんせつ)、側溝の管理は、地権者に返還後、どうなるのか。

2) 盛土により地下水位の上昇による調整池への流入はどの程度に考えているのか

3) 盛土により地下水位の上昇による地震等によるすべりの増は計算されているのか

4) 蛇籠の耐用年数は決まっていないとの返答であったが問題ないのか(土の流出防止なのに)

5) 盛土の基準は、保安林解除の林地開発許可基準なのか

6) 貴社は盛土の基準は、道路の施行基準と言っているが、谷・沢の盛土の基準に適用出来るのか。基準の計算書と適用法令の提示を

7) 降雨量の100年確率は120mm/hの雨量であると説明された。飯田測候所は1922年に出来たが、どの資料から計算されたのか。フェア確率では1時間降雨強度で36mmが5年確率とすると100年確率では70mm程ではないのか。120mmは900年確率になると思うが。

8) 本山に下伊那竜東断層が確認されているが、問題ないのか。

⇒返還後の管理の詳細につきましては、今後、豊丘村、地権者と協議して決めていきます。調整池につきましては、工事により林地がいったん裸地となるため、設計上ほとんど水が浸透しない条件で設計しています。植林したものが育ち、保水能力が確保できれば、調整機能としては必要なくなります。よって、管理を引き継ぐときには、調整池を普通の水路に改修するなど浚渫が必要ない状態を考えています。また、水路の管理につきましては、豊丘村へ引き継ぐことを考えています。

⇒盛土内における地下排水のことを指していると思いますが、盛土内へ浸透した雨水等は、暗渠排水管等ですべて水路や調整池へ流します。一方、盛土するトンネル発生土は、岩を砕いたものになりますので、水が透水しやすいため、盛土内部に水が留まることは基本的にはありません。なお、調整池の設計は、長野県の林地開発許可申請の手引きから、流域開発に伴う防災調整池等技術基準に基づき設計を行っています。→2)の回答のとおり、基本的には、地下水位の上昇はないと考えておりますが、念のため、設計降雨量を加味して水位上昇を見込み、すべり計算も行っています。

⇒2)の回答のとおり、基本的には、地下水位の上昇はないと考えておりますが、念のため、設計降雨量を加味して水位上昇を見込みすべり計算も行っています。

⇒蛇籠(布団籠)は、手引きで設置義務化されているものではなく、盛土工事の初期の段階で、のり尻からの土砂の流出を防止するため、より安全性を高めるため設置を計画しております。斜面が種子吹き付け等で緑化されるまでの一時的なものなので、耐用年数については、問題ないと考えています。

⇒発生土置き場の設計は、基本的に各自治体の条例等や、財産帰属先が指定する技術基準で設計・施工を行います。発生土置き場が民地の場合には、土地の改変等に伴い必要となる行政手続きの基準等に基づき設計・施工を行います。現在設計を行っている本山発生土置き場は、保安林解除の行政手続きが必要になります。保安林解除の行政協議の中で、設計については、林地開発許可申請の手引きを用いるよう長野県から指導を受けております。

⇒5)の回答の続きになりますが、林地開発許可申請の手引きに記載のない内容につきましては、長野県の指導により「長野県土木事業設計基準」を用います。この設計基準の中で、盛土の安定性の検討は「道路土工-盛土工指針」を用いるよう示されております。従いまして、主な適用法令としましては

- a.森林法
- b.林地開発許可申請の手引き
- c.長野県土木事業設計基準
- d.道路土工-盛土工指針

になります。

なお、設計計算書等につきましては、当事務所にお問合せいただければ、個別にご説明させていただきます。

⇒降雨強度の100年確率約120mm/hは、長野県の防災調節池基準等で公表されている降雨強度式(飯伊地区)を用いて、本山発生土置き場の立地条件、周辺からの流入面積や流下速度等の条件を当てはめ、計算したのが約120mm/hであります。

従いまして、この数値を使って、水路や調整池の設計を行っています。

⇒環境影響評価書にも文献調査を元に下伊那竜東断層のおおよその位置について掲載しています。本山発生土置き場候補地全体を網羅できるようボーリング調査を実施した結果、硬質で良好な岩盤が確認されております。ボーリング調査結果を踏まえ、本山発生土置き場候補地の詳細設計を行っています。なお、発生土置き場の盛土安定計算は、最新の国の基準(道路土工-盛土工指針)で設計しています。この基準では、震度7を記録した兵庫県南部地震クラスの

<p>イ. 先ほどの説明の中で、「基本的には、地下水位の上昇はないと考えております。」とあったが、これだけの広い面積であり本当に大丈夫なのか。又排水管についても 1m の物で十分なのか、下流に行くにつれてもっと太い物が必要ではないか。</p> <p>ウ. 本山地区の発生土置き場については、平成 25 年に候補地として手を上げたが、自分としても大賛成と言う事ではない。非常に心配もしていた。しかしリニア工事による排土が、まず止まる事が無いと考えれば、この発生土が下段へ降りてきた時の影響を考えて、発生土を本山地区に置くことを判断した。</p> <p>当時はまだ簡単な凶面でもあったが、今以上の設計を要望し、工事完成後の管理についても協議していく中で、JR 東海側からも伐採後の根の処理、腐葉土の排除等を実施し、管理についても、JR 東海で責任を持ってくれるとの考えを示していただいた。</p> <p>この設計で未だ十分に満足した訳ではないが、協議していく中で更に安全を追求していきたいと考えている。</p> <p>3 月に本山生産森林組合の総代会があるが、その場でしっかりと説明して、ある一定の方向を出していきたいと考えている。</p>	<p>地震を受けても崩壊しないような設計になります。</p> <p>⇒基本的には、それだけの雨が降ってもきちんと排水できるよう設計されています。排水だけすれば良いというわけではなく、調整池を作り下流に一気に流れないように設計となっています。きっちりと排水ができ、更に貯水する能力も持つ設計となっています。</p> <p>⇒色々なご意見ご要望を聴く中で、それを設計に反映させ、県に審査いただきながら安全性を高めてきています。今後もご意見をいただく中で進めていきたいと考えていますので、引き続きご指導をお願いします。</p> <p>エ. JR 東海 中央新幹線長野工事事務所 古谷所長より ご意見いただき、ご議論いただきありがとうございます。工事後の管理につきましては、引続き豊丘村・地権者と詳細について調整を進めていきます。当社といたしましては、1/30,2/5 の下流域地区への説明会、並びに、本日の委員会での議論を踏まえ、本山を発生土置き場として使わせていただくことを前提に次のステップである環境アセスの事後調査の手続きや行政手続きを進めていきたいと考えています。</p> <p>本日いただいたご意見は、しっかりと受けとめ、検討し、必要に応じて、設計や工事計画に反映していきます。</p> <p>⇒JR 東海が次のステップに進みたいとのことであるが、委員の皆様よろしいでしょうか。ご意見が無いようですので、現場事務所・作業員宿舍の質疑に移ります。（リニア対策委員長）</p> <p>オ. JR 東海 中央新幹線推進本部 澤田担当部長より 本山発生土置き場候補地に関してご説明をさせていただき、様々なご意見をいただきました。当社としては本山発生土置き場候補地を使用させていただきたいと考えております。今後は地権者や豊丘村と相談させていただきながら進めていきます。</p> <p>先ほど、古谷から環境アセスの事後調査の手続きや行政手続きを進めていきたい旨伝えさせていただきました。これまでに環境面での調査を現地で行わせていただいております。これは環境アセスの一環で報告書をまとめております。今後は長野県へ報告をさせていただき予定ですのでご承知おきください。</p>
<p>③現場事務所・作業員宿舍の建設について</p> <p>ア. JV の現場事務所及び作業員宿舍を、大柏地区に作りたいとの話があったが、工事用車両だけでなく、そういった方々の一般車両についても村内広く通行されると思うので、それについても調整いただければと思う。</p> <p>イ. 大鹿村では、宿舍の食材を地元で調達するなどの、地元の物を少しでも使ってもらうような取組みをしていると聞いた。豊丘村でも是非同じ対応をお願いしたい。</p> <p>ウ. 宿舍から現場へ行くルートについては、だいたい決まっているのかなと思うが、実際の工事がはじまると、何人くらいの方が何交替で、何時に入れ替えを行うのか等を聴かせていただきたい。又通行するルートが決まった場合には、沿線の住民にも説明していただきたい。</p> <p>エ. 先日、大柏地区へ説明に来ていただいた時に確認し忘れたので質問したいが、今後壬生沢の坑口や、柏原への変電所建設工事が行われると思うが、トンネル工事については 4～5 年位との事なので、他の工区についてもこの施設については、引き続き使用するのか。</p>	<p>⇒事務所、宿舍へ通勤する車両のルート等については、まだ確定していません。地元の説明会の中でも同じご意見が出ましたが、これから調整していきたいと考えています。いずれにしろ工事関係車両が通行することにより、地元の皆様に不愉快な思いをさせるようなことはさせませんのでご理解をお願いいたします。（JV）</p> <p>⇒豊丘村と話をさせていただく中で、そのようなことが可能であれば、当社としても積極的に取り組んでいきたいと考えております。（JV）</p> <p>⇒今回 JV 職員として 12 名、トンネル業者として 35 名が入って来る予定です。昼夜 2 交替で工事を実施し、交替時間については朝 7 時～夜 6 時と夜 7 時～朝 6 時で行う予定です。通る道が決まっていなくて申し上げましたが、地元地区から要望が来る予定の為、それにより路線等が確定してくるため、未定とさせていただいています。いずれにしろ地元の皆様と、しっかりと話しをする中で進めていきたいと考えています。（JV）</p> <p>⇒工事については重複することになりますが、坂島工区以外は請負業者が決まっておりません。基本的な考えとしては、違う会社が別の所に、事務所等を設ける事になると考えています。</p>

<p>オ. 現場事務所等の周りについて、浸透性のある透水性の舗装での施工をお願いしたが、返答をお願いしたい。</p> <p>カ. 50人規模の生活の場となるので、排水については心配な箇所もある。後日現地等を確認していただくとの話であったので、対応はしっかりとお願いしたい。</p> <p>キ. 現場に入られて1年ぐらいは、気が張っておりしっかりとしていると思うが、段々と慣れてきてしまいいい加減な事にならないように、節度も持って4.5年、10年としっかりとやっていっていただきたい。</p> <p>ク. 先ほども話があったが、食材等地元の物を使うとの話が合った。是非使っていただき、地元にもしっかりと貢献していただきたい。</p> <p>ケ. 宿舎の従業員管理の関係で、今までどんな問題があったのか、監督をしっかりとやっていく中で、人事についても、どなたがどのようにやっていくか、部署を交えて指導して行っていただきたい。</p> <p>コ. 昨年の対策委員会の中で、土砂が河川に流れ込まないような対策をとるとあるが、どのような対策か決まってくるのか。</p>	<p>⇒地元のご要望のあった透水性の舗装での施工を考えています。(JV)</p> <p>⇒自分たちの宿舎の為に、下流で水があふれてしまわないように対応はしていきたいと考えていますが、まずは現地を確認したいと考えています。(JV)</p> <p>⇒マンネリにより風紀が乱れるという心配であるかと思いますが、そのようなことが無いように管理していきます。(JV)</p> <p>⇒まずは地元の物を出来るだけ、優先にしたいと考えています。(JV)</p> <p>⇒ご心配いただいていることについては、JVが責任を持って対応させていただきます。(JV)</p> <p>⇒坂島のヤードについては、発生土を仮置きして運搬するので、河川へ流出する事は無いと考えています。発生土置き場については、下流に調整池を作りますが、それを沈砂池として使用して河川へ流れ込むのを防止したり、柵を作り土砂が流れるのを防ぐような対応をしたいと思います。詳細については、工事説明会で説明していきたいと考えています。</p>
<p>④その他の関係について</p> <p>ア. 各3校よりPTAの立場でこの委員会へ出席しており、出た内容については各学校へ持ち帰っているが、学校側ではこの情報について何も知らない状態である。学校側への情報提供についても是非お願いしたい。</p> <p>イ. この会に学校側と言う事で、教育委員会に加わってもらったらいかがかと思う。これから工事は10年続くので、学校長やPTAにしてもそんなに長くは関われないと思う。安定して携わっていくには、教育委員会の出席が良いと思うがいかがか。</p>	<p>⇒学校側へも、お話ししていくようにしていきたいと考えています。</p> <p>⇒ご指摘ありがとうございます。是非検討してみたいと思う。(豊丘村)</p>

(3) 中部電力よりリニア中央新幹線への運転用電力供給事業の進捗状況等の説明

- ①変電所・送電線関係の調査測量及び自主環境調査の進捗状況について
 - ②工事用電力供給のための配電線工事について
 - ③中部電力関係車両へのステッカー表示について
- ⇒質問意見なし

(4) 豊丘村より水資源に係る具体的な調査の計画について

⇒質問意見なし

7. 閉 会